

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|--------------------|------------|--|
| 事業所番号 | 0570909416 | | |
| 法人名 | 有限会社くおん | | |
| 事業所名 | グループホームくおん B棟 | | |
| 所在地 | 秋田県鹿角市八幡平字堰の下108番地 | | |
| 自己評価作成日 | 令和3年8月31日 | 評価結果市町村受理日 | |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaigokensaku.jp/05/index.php |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-------------------|--|--|
| 評価機関名 | 社会福祉法人 秋田県社会福祉事業団 | | |
| 所在地 | 秋田市御所野下堤五丁目1番地の1 | | |
| 訪問調査日 | 令和3年10月22日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

| |
|---|
| <p>春夏秋冬 季節を目で肌で感じ取れる自然豊かな環境にあります。日々ゆったりと一日が過ぎるような雰囲気の中で安心して過ごすよう努めております。</p> <p>・冬が長いので陽が出る日は出来るだけ外で、日光浴、外気浴を行っています。 (目の前の田んぼの様子や作業内容を見て、目で季節を感じる事が出来る。また、外気に触れることで肌でも季節を感じる事が出来る。自然を目にすることで、昔話したり会話の糸口になったりしている。)</p> <p>・入居者さんの重度化が進んでいる状況で、入居者さんとそのご家族さんの安心に繋がるように訪問歯科を行って頂き外部からのお力添えを頂いている。</p> <p>・今年度は、昨年の課題でもありましたコロナ禍の中での外部研修について、ネット環境を活用しオンライン研修を受講しカバーできる様になってきた。併せて内部研修を毎月計画に沿って行い、職員の資質向上に努めております。資格取得の為、また、介護福祉士、初任者研修を会社経費で受講して頂いております。</p> <p>・今年度、介護報酬改定が行われ、災害時の対応力強化の構築がうたわれ、昨年度より外部電源工事を準備して参りました。11月には完成予定であり、有事の際は、入居者さんのみならず地域の方々へも高齢者第2指定避難所として開放出来るかと考えます。</p> |
|---|

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

| |
|--|
| |
|--|

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～53で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|----|--|----|---|
| 54 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | 61 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) |
| 55 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | 62 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) |
| 56 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | 63 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) |
| 57 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | 64 | 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) |
| 58 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | 65 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う |
| 59 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | 66 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う |
| 60 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|---|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 社内研修と通し理念の重要性を説明してもらったうえで、くおんの理念「ゆとり いたわり おもいやり」になった経緯を説明してもらった。介護で迷った際は理念に沿った介護を提供するように心がけている。職員間でも話し合い共有し支援に活かしている。 | | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | コロナ禍により交流する機会(イベント)が全くなくなってしまい日常的と言われれば無いに等しい。唯一交流できる機会が外気浴中の地域の方との挨拶や同級生が声を掛けて下さったり地域の商店、理髪店から協力してもらい買い物、散髪を行ってもらっている。また、旬の野菜を頂戴したり可能な範囲での交流となってしまっている。少しずつですが、コロナ感染状況を観察しながらボランティアさんの受け入れを行い歌、踊りを観賞させてもらっている。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している | オレンジリング研修(認知症サポーター養成講座)の受け入れを行い意見交換や資料を配布し認知症の理解に務めさせて頂いた。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 昨年度に引き続き、今年度も開催出来ていない。次第の発送をもって意見を求めているが、特段意見はなく開催出来る日を早く望んでいます。 | | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 運営推進会議次第を渡す際に、運営について意見は無いか。質問事項は無いか確認している。介護報酬改定に伴い、分からない部分や確認事項など直接出向いて相談したりコロナワクチン予防接種について何度も相談させてもらった。 | | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 社内研修及び身体拘束廃止委員会開催を通して職員が勉強する機会を設けている。日常の介護から疑問に思っていることを協議する機会もあり統一介護できる様に努めております。昨年度からの面会について自由な面会を制限する行為は身体拘束に該当するか。何度も何度も協議した。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 上記研修、委員会はもちろんですが、日々の申し送りや申し送り後の時間を使って職員間で話し合っています。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 昨年度から社内研修で学ぶ機会を頂きました。資料を頂いたが、まだまだ知識が乏しく施設長にまかせっきりになってしまっている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 入居前に必ずご家族さん本人から施設見学をしてもらい納得してからの入居スタイルです。契約の締結、解約に関しては施設長が対応しています。料金改定に関しては、説明、同意書を社長が対応している。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 毎月のサービス提供表に家族さんからの意見要望を記載できる欄があり活用している。電話、受診に立ち会って頂いた際、来訪された際には聞く様になっている。また、投書箱も設置し苦情相談窓口がある事を伝えている。 | | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 申し送り後のフリートークの際、会議の中で細かい部分についても意見が出しやすい様に意見を問う機会を多く設けて貰っています。センサーマットの購入、増設してもらった。 | | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 労務士さんから助言を頂きながら環境は整備されている。資格取得には積極的にバックアップしてもらっている。介護福祉士資格、ケアマネジャー資格取得で昇給があり目指す目標が職員一人ひとりある。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 毎月の計画に沿った社内研修を行っています。資格取得に積極的なバックアップを頂いております。資格取得時には昇給する。オンラインを活用し外部との研修を行いました。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------|-----|---|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 直接的な交流は出来ないが、多職種連携をはかる会主催のオンライン研修を介して交流しております。 | | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居時の情報を重要としております。また、お茶の時間や入浴時、職員と1対1になる時間を大切にして、何気ない会話から思いを聞き出し職員間で共有しスピーディーな信頼関係構築に努めております。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 契約前に何度か自宅へ訪問させて頂き(施設長、職員)職員の顔を覚えてもらう様にしています。自宅の方が意見を出しやすい様に思います。 | | |
| 17 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 主婦経験者が多く、台所仕事、洗濯干しなど職員と一緒にいき、同じ時間を共有している。同じ作業をする事で、会話も広がり信頼関係構築の一助となっている。 毎日、交代制で「あいさつ当番」があり誰しもが役割があります。 | | |
| 18 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 今の現状を説明し、ご家族さんからも理解して頂くように2回は受診に立ち会い主治医からも状態や今後の事についてお話をしてもらっています。そのうえでご家族さんと情報を共有しております。 | | |
| 19 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | コロナ禍により地域の行事が中止となってしまう馴染みの人との交流はなくなってしまった。馴染みの場所(自宅、お寺、畑)へドライブに出かける。 タイミングが合えば、外氣中に従妹の方、同級生が通りかかった際に会話する。地域の方とあいさつを交わす程度になってしまっている。 | | |
| 20 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 入居者さん同士と一緒に台所仕事をしたりリビングで皆が知っている共通の歌を歌ったりレクリエーションを行ったり楽しい雰囲気をつくる事で孤立にはならない様に努めています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 昨年まで退居となった家族さんから運営推進会議評議員として退去後10年間も努めて下さっていました。 薬剤師を務めている方もおり仕事の相談に乗ってもらったりプライベートの相談をしたりされたりと「つながり」を力に邁進しております。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 22 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 行事の都度、職員との会話をヒントに希望、要望を把握する様にしている。また、日常のお茶タイムでの会話から情報を得る。ストレートに「希望は何？」と聞かず、何気ない会話から把握に繋げている。 | | |
| 23 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居前にケアマネジャーを介して情報を貰い把握に努めている。中には、お子さんと同居しておらず情報が分からず入居してからの会話から情報を得る場合もある。 契約前に必ずご自宅へ訪問を何度かさせてもらい直接ご本人さんとお話をさせてもらい把握する様に努めております。得た情報は、しっかり職員間で共有するように努めている。 | | |
| 24 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 日々の支援を記録に残したり作業(台所仕事や洗濯関連)を職員と一緒にやりカンファレンスで検討し記録に残している。 | | |
| 25 | (10) | ○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 日々の記録を元に介護計画を作成し、ご家族さんから意見を頂戴し主治医からアドバイスを貰い、毎月の介護計画に反映させ実施→検証を繰り返している。 | | |
| 26 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 上記と重複するが、特に変化がある時はカンファレンスしている。 | | |
| 27 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域の商店から移動販売に協力してもらい入居者が買い物出来る機会をつくってもらっている。また、散髪も地元の理容所さんから行ってもらっている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 28 | (11) | ○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 入居時、主治医はそのままでお世話になっていきます。歯科に関しては、多職種連携会議でのつながりを活かし歯科医へ車イスでの受診困難である現状を相談したところ訪問診療でバックアップして頂いており、困りごと相談できる関係を構築しています。薬局については、配達時に直接顔を合わせる事が多々あり薬について相談したり薬変更で気を付ける事などアドバイス頂いている。 | | |
| 29 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 看護師不在の為、必ず受診前に医師や看護師さんに伝える現状を職員同士で話し合います。診察に入る前に看護師さんと話をしております。特に精神科診察は医師へ伝えるタイミングが難しく紙に書いて医師や看護師さんへ手渡し対応している。 | | |
| 30 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 全般的にケアマネジャーが対応している。入居者の状態については、ケアマネジャーから逐一報告を貰っている。 | | |
| 31 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居時に説明しご家族さんからご理解を頂いております。また、緊急時の受診にご家族さんから立ち会って頂いたり、定期受診時、立ち会って頂いたご家族さんへ主治医から重度化、終末期に向けて対応の方向性を話し合っておりま | | |
| 32 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | マニュアルを参考に避難訓練と合わせ応急手当を行った。 | | |
| 33 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 定期的に訓練を行っています。運営推進会議でも話題に出したが、水害についてはハザードマップから考えれば下手に動かない方が良い。むしろ地域の高齢者の避難場所として開放出来る様に。火災以外の災害時は、高齢地域の現状を考えれば、地域の人手はくおんに回すことが出来ない。逆に福祉車輛を貸して欲しい。と意見をいただいた。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 34 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 社内研修、身体拘束廃止委員会を行い改めて気付きを得る事が出来ました。職員の思いと入居者さんの思いでは相違があり(事故発生の危険を感じた時)誤解を招かない様に、声のトーンや話す時の目線の高さに注意しています。事後の説明も大切にされる様に心掛けている。 | | |
| 35 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 移動販売来訪時、自分が食べたい物を選んで頂いております。また、日常の会話の中で希望を口に出来るような雰囲気づくりを心掛けております。 | | |
| 36 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 価値観や生活スタイルを出来る限り受け入れているが、緊急受診など突発的な出来事があれば希望通りの生活を支援出来ているか疑問な時があります。 | | |
| 37 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 服を選ぶ事が出来る方は一人で選んで頂いているが、出来ない方には季節に合った服の選択肢を2~3組用意し自分で選択出来るように努めています。以前は、服屋さんから訪問販売してもらい自分の目で見て購入してもらった。 | | |
| 38 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 得意とする方から片付けを職員と一緒にやっている。季節や行事を反映したメニューになっており食事からも季節を感じる事ができる。また、食べながら職員は会話の中で説明し会話を膨らませている。 | | |
| 39 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事はカロリー計算されたものを提供しております。水分は主治医から水分量を指示してもらいました。1日全ての食事、水分の摂取量を記録に残し月初めに体重測定し特変があれば、主治医へ報告し助言を頂いております。 | | |
| 40 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | それぞれ対応や声掛け介助は違いますが、毎食後に必ず行っています。夜間は入れ歯を外してもらい洗浄しています。訪問歯科医よりアドバイスを頂いたり訪問時に直接ご指導いただいております。その得た知識を職員全員で共有しています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 夜間オムツを使用している方でも日中はトイレ誘導しております。また、夜間ポータブルトイレを設置しパットを使用しない努力をしております。全ての方に該当しますが、チェック表を参考にトイレ誘導声掛けしております。 | | |
| 42 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 食事、水分摂取の声掛け、午前、午後の体操、散歩をして体を動かしてもらい入浴時など腹部マッサージするなど対応している。 | | |
| 43 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 体調確認してから入浴に繋げている。拒否がある場合は職員を変える、時間をおいてから声掛けしている。入浴後は、水分を摂ってもらっている。 受診や職員勤務時間の関係から個々の希望通りに支援出来ていないと感じるが、入浴中の職員との会話、好きな音楽を聴きながら入浴するなど工夫はしております。 | | |
| 44 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 日中は運動を中心に活動してもらえる様に心掛けている。また、話を傾聴し安心して過ごせる様に努め夜間の安眠に繋げている。 その人に合った睡眠時間の確保に努めています。 | | |
| 45 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 処方箋を必ず確認し職員間で話し合っています。些細な分からない事は薬剤師や主治医に相談し不安がない様にしています。また、飲み忘れや誤薬が無い様にチェック表を用い薬を一包化してもらい日付を入れ対応しています。 | | |
| 46 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 天気の良い日は外に出て体操したり音楽を聴いたり散歩したり外の景色を眺め季節を体で感じてもらっています。家の近くまでドライブに出掛けたり初詣やお墓参りに外出していましたが、今年はコロナ禍で回数が減っている。 その日その日で「あいさつ当番」があり皆が役割があります。 | | |
| 47 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | コロナ禍で色々制限がある中で以前のような支援が出来ていないのが現状ですが、車でのドライブで家庭訪問してみたり花を見に出掛けたり主に車での外出支援でしか対応できていません。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 48 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 自分でお金を持っている方もおりますが、ご家族さんからの預かり金を管理させてもらっている方もおります。 近所の移動販売来訪時、預かり金を手渡し、自分で選び購入してもらっています。また、商店の方からご協力してもらい一人ひとりがゆっくり時間を掛け支払金額、お釣りの計算が出来る様に対応してもらっています。 | | |
| 49 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 手紙のやり取りはないが、ご家族さんからの電話は受話器を渡し話をしてもらっています。電話を掛けたいが掛け方が分からない方へは手助けをさせてもらっている。 | | |
| 50 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 掃除は毎日行っていますが、トイレなどは汚れている都度、掃除している。 リビングから中庭が見える作りになっており、季節で色んな花が咲き季節を感じる事ができる。また、雨、雪が降った時も目に訴える事が出来ると思います。 | | |
| 51 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 個々に安心できる固定場所がある様に思います。そういった場所で気の合う方と談話したり一緒にレクやおやつを食べたり思い思いに過ごされている。 | | |
| 52 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居時出来るだけ使い慣れたものを持って入居するようにお願いしておりますが、完璧ではない様に思います。 私物の洗濯物を共有スペースには干さず居室へ干し安心に繋がっている方もおります。また、夜間トイレが心配な方にはポータブルトイレを設置し安心に繋がっている。 | | |
| 53 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 一人ひとりのADLに合わせ出来る事はお手伝いしてもらっています。 | | |